

令和6年度 第2回 守山市社会教育委員会議 議事録（摘録）

- 1 日 時：令和7年2月21日（金） 午後3時00分から午後4時25分まで
- 2 場 所：吉身会館大会議室
- 3 出席者：委員7名（中川委員長、清水副委員長、小泉委員、村瀬委員、中島委員、藤井委員、田中委員）
事務局7名（辻本教育長、飯島部長、神藤次長、正江課長、川中参事、真鍋指導員、須賀事務員）
傍聴者0名
- 4 議 題
報告事項（1）令和6年度事業経過報告について
（2）「漢健サロン」市内実施拡大への取組について
協議事項（1）第5次社会教育・生涯学習まちづくり基本計画の重点施策について（ICTの進化に応じた学習の推進）
（2）第5次社会教育・生涯学習まちづくり基本計画の計画1年延伸について
（3）令和7年度事業計画（案）について

《会議記録》

1 開会

- （1）委員長あいさつ
- （2）教育長あいさつ

2 報告事項

- （1）令和6年度事業経過報告について
→資料1に基づき事務局より説明。質疑応答特になし。
- （2）「漢健サロン」市内実施拡大への取組について
→資料2に基づき中川委員長より説明。質疑応答等の内容は別紙のとおり。

3 協議事項 ※原案どおり承認

- （1）第5次社会教育・生涯学習まちづくり基本計画の重点施策について
→資料3に基づき小泉委員より説明。質疑応答等の内容は別紙のとおり。
- （2）第5次社会教育・生涯学習まちづくり基本計画の計画1年延伸について
→資料4に基づき事務局より説明。質疑応答等の内容は別紙のとおり。
- （3）令和7年度事業計画（案）について
→資料5に基づき事務局より説明。質疑応答特になし。

4 その他

- （1）社会教育委員体験記の募集について
- （2）滋賀県社会教育委員連絡協議会情報誌「しが志縁」について
→別添配布資料について事務局より説明。

5 閉会

質疑応答等【報告事項(2)】

「漢健サロン」市内実施拡大への取組について

発言者	内容
委員	資料の訂正追加があれば、現状報告も含めてお願いしたい。
委員	浮気自治会の活動紹介（小学生11名の申込がある。10級から8級まで分かれるため運営方法検討。）
委員	赤野井自治会の活動紹介（現在大人14名、子ども4名。高齢者は94歳1名、80代2名、ほか70代。指導者は他1名。ボランティアを増やしたい。）
委員	世代間交流の取組の観点から、高齢者と子どもは一緒に取り組んでいるか。
委員	浮気自治会は毎月一緒に取り組んでいる。
委員	赤野井自治会は4・5・6月は日曜日に開催しており、子どもも一緒に参加している。
委員	下之郷自治会は3月に7級の勉強を終わり、4・5・6月に子どもも一緒に模擬試験を受け、6月の本番に臨む。10級から7級の小学生を募集する。
委員	漢健サロンは全国でも珍しい取組。2月25日発行の「社教情報」に掲載される。9月5日の近畿地区社会教育研究大会で発表を依頼されている。

質疑応答等【協議事項(1)】

第5次社会教育・生涯学習まちづくり基本計画の重点施策について

委員	エルセンターの講座（地図アプリ）を受講しようとしたらすぐ申込がいっぱいになった。人気もあるので継続すべき。
委員	これから先、困るだろうという危機感を持っている。研修や相談の場があればよい。
委員	メールは大量の情報が入ってくるのでやめてしまった。情報の真偽が入り乱れる。子ども達の中で、使えるかどうかの格差はないのか危惧する。
委員	1人1台の端末整備後は、Wi-Fiの貸出しもあり子ども達が使いやすい環境は整っている。トラブルに繋がらないよう指導が必要。
委員	商工会議所でも課題であり、経営者が高齢化し、ネットでの申請や確定申告ができない。研修会や個別相談も行っているが対応を模索している。
事務局	確定申告の医療費控除もマイナンバーとスマホで簡単にできる。メリットをモチベーションに繋げるよう伝えていくことが重要。
事務局	市役所の閉庁時間を早めるが、オンライン手続きを活用する。ICT活用を進めつつ、無理な方にも寄り添った形で進める。
委員	自治会の高齢者サロンで、85歳の参加者が周りにLINEを教えてもらう場面があり、自治会でそのようなこともできると広がりを感じられた。

	多くの情報の真偽をしっかりと見極め、判断した上で自分の意見になるようにしなければならない。
事務局	ICTの便利さや必要性などお得感を講座に取り込めばよい。講座に中高生に入ってもらえれば世代間交流で楽しい時間になるのではないか。

質疑応答等【協議事項(2)】

第5次社会教育・生涯学習まちづくり基本計画の計画1年延伸について

発言者	内容
委員	延伸に反対するものではないが、総合計画策定を受けて策定していく説明をするのであれば、他の市の計画と整合が取れないのではないか。漢健サロンなど、今動いている事業があるため延伸する方が説明としてよいのでは。
事務局	いろいろな考え方があるが、総合計画の方針に則り個別計画を策定する説明をしたい。漢健サロンなど事業の動きもある中、一番の理由は現計画の総括をきっちりしたいということである。

令和 6 年度 第 2 回公民館運営審議会 議事録（摘録）

- 1 日 時：令和 7 年 2 月 21 日（金） 午後 4 時 35 分から午後 4 時 55 分まで
- 2 場 所：吉身会館大会議室
- 3 出席者：委員 7 名（中川委員長、清水副委員長、小泉委員、村瀬委員、中島委員、藤井委員、田中委員）
事務局 8 名（辻本教育長、飯島部長、神藤次長、正江課長、川中参事、真鍋指導員、須賀事務員、竹村館長）
傍聴者 0 名
- 4 議 題
報告事項 (1) 令和 6 年度事業経過報告について
協議事項 (1) 令和 7 年度事業計画（案）について

《会議記録》

1 開会

2 報告事項

- (1) 令和 6 年度事業報告について
→資料 1 に基づき事務局より説明。質疑応答特になし。

3 協議事項 ※原案どおり承認

- (1) 令和 7 年度事業計画（案）について
→資料 2 に基づき事務局より説明。質疑応答特になし。

公民館事業全般についての質疑応答等の内容は別紙のとおり。

4 閉会

- (1) 中川委員長退任のあいさつ

質疑応答等【公民館事業全般について】

発言者	内容
委員	守山市の社会教育・生涯学習は公民館のさまざまな活動があればこそだと考えている。
事務局	時代の流れとして、70歳まで働く人が増えている。地域教育学級も70歳以上が参加しており、実情に合わせた開催要項に変えていく必要がある。 コロナ禍では閉塞感があったが、今は本来の公民館事業ができていると感じている。
委員	昨年、近畿の公民館大会に参加し他府県の取組を学んだが、滋賀県の公民館の組織はないのか。
事務局	県の組織は解散しており、県内でも公民館が残っている市町は少ない。本市は各学区に公民館がありしっかり活動しているが、市町間の交流がなく情報が入りにくい。
委員	公民館の課題はあるか。参加者や職員体制など。
事務局	ほっとステーションは職員だけでなく地域のボランティアで運営している。 地域教育学級は内容や年齢に偏りが出ており、開催要項を時代に応じて見直す必要がある。
事務局	ほっとステーションは子どもを園に預ける人が増えたため、参加者が少なくなっている。サポーターも高齢で辞めたいという方が増えている。